

# 高野新聞

Vol.82



たかの  
**高野 たけし**  
無所属 43歳

滝子市議会議員（4期）

- ・総務常任委員会委員長
- ・基地対策特別委員会委員
- ・議会運営委員会委員
- ・議会活性化推進協議会委員

## 高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

平成28年第1回定例会において、市長より来年度の予算案が示されました。

来年度予算案の総額は364億1,440万円（一般会計：196億9,700万円、特別会計：167億1,740万円）で、特に一般会計においては過去最大規模となっています。

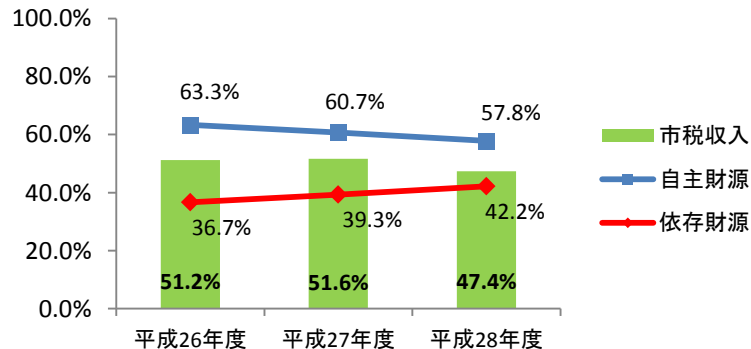
### ◆厳しい財政状況

ここ数年、本市の一般会計における自主財源は下降傾向で、大変厳しい財政状況が続いています。これは経済状況、さらには人口動態の変化に伴う市税収入の伸び悩みが大きな要因となっているものと考えられます。（下図参照）

そして、こうした状況がこの先も大きく好転する見込みが薄いことを考えると、事業の必要性、継続性を再検証し、事業の取捨選択を的確に行っていくことが喫緊の課題と言えます。

|      | 平成26年度     | 平成27年度     | 平成28年度     |
|------|------------|------------|------------|
| 自主財源 | 12,091,656 | 11,097,356 | 11,371,965 |
| 依存財源 | 7,005,555  | 7,162,644  | 8,325,035  |
| 合計   | 19,097,211 | 18,260,000 | 19,697,000 |

【一般会計に占める自主財源・依存財源と市税収入比率】



※平成26年度は決算ベース、平成27年度・平成28年度は当初予算ベース

政治資金の残り

あと 9,368円

(12/1～2/29の内訳)

支出…ポスター掲示用プラダン

2,814円

### ◆人口維持のための方策

また、様々なデータを元に算出された本市の人口推計が先日晒されましたが、現在約58,000人の人口が2035年(平成47年)には5万人を切り49,605人に、2060年(平成72年)には4万人を切り37,590人になると予測されています。これに伴い生産年齢人口(15～64歳)の総数も減少していくのですが、注目すべきはその割合です。現在の人口に占める生産年齢人口の割合が57.7%なのに対して、2035年(平成47年)には55.3%に、2060年(平成72年)には53.1%にまで減少する見込みとなっているからです。

そのため、本市の人口維持に努めていくことも重要な課題であることから、住民ニーズを的確に捉えた事業展開とシティプロモーションの充実を行政当局に対し提言したところです。

## Topic ～歩行喫煙防止条例～

議会内に「歩行喫煙防止条例制定に係る調査会」を昨年7月に設置し、議論を重ねるとともに先進自治体の視察や現地調査等のフィールドワークを行ってきましたが、今定例会に議員提出議案として上程、全会一致で可決されました。

本条例は、市長が路上喫煙禁止区域を指定、禁止区域において路上喫煙等がなされないよう指導・勧告を行い、市民等の安心かつ安全で健康的な生活の確保及び美観の保全を目的とする内容となっています。本条例内容を市民等に周知するとともに、種々の準備を行う必要もあることから施行は10月1日からとしています。

そして、調査会の中でも議論の俎上に上がった罰則規定に関しては、条例制定後の運用状況を見た上で、必要に応じて条例改正等も含め検討することとしました。

さらに、駅前等への喫煙場所の設置に関しては多額の予算と各関係機関との交渉を必要とすることから、行政当局の判断に委ねることとしたところです。

この条例が有効に機能し、目的をしっかりと達成できるよう施行後も注視していきたいと思っています。

# 視察報告 《再生可能エネルギー》

再生可能エネルギーの取り組みを視察するため、佐賀県佐賀市にある「佐賀市清掃工場」を訪問してきました。

佐賀市は平成22年に「佐賀市環境都市宣言」を行い、豊かな自然環境を未来の子どもたちに受け継いでいくため、市民や地域、NPOなどの市民団体、事業者、行政などが互いに連携・協力しながら自然環境との調和に配慮したまちづくりに取り組んでいます。

草類・剪定枝、廃食油のリサイクルを推進する他、ゴミ焼却熱による発電には特に力を入れており、平成17年と平成19年に行われた1市6町1村による合併以降は4つのクリーンセンターを統合し、年間3,265万kwhの発電に繋がっています。この発電による財政効果は年間約8,900万円になるとの試算も。

そして現在は、ゴミの焼却時に発生する排ガスの一部から二酸化炭素を分離回収する装置を設置し、分離回収した二酸化炭素を化粧品などの原料を抽出する微細藻類の培養事業者や、高付加価値な農作物の培養を行う農業用ハウスなどへ供給する事業に着手しています。

この間の実証実験でも、化粧品やサプリメントに用いるアスタキサンチンを多く含むヘマトコッカスの培養に純度の高いCO<sub>2</sub>を用いたところ成長スピードが1.5倍に、また葉菜類の栽培においても生育スピードが1.5倍になったとの実験結果も出ているとのことでした。

佐賀市においても、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（廃棄物からの再資源化）に取り組むと同時に、ゴミの分別化や有料化などゴミ排出量の削減を進めてきましたが、その延長にバイオマス利活用があったとのことでした。

逗子市の自治体規模を考えると佐賀市と同規模のインフラ整備をするのは難しいですが、ゴミの広域連携を前提にすれば佐賀市の構想を参考に有効なバイオマス施策の実現も可能性があると感じたところです。

今回の視察結果を今後のゴミ処理政策に活かしていきたいと思っています。



## どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

市民の方より「ごみの収集カレンダーに空き缶等の収集日も載せて欲しい」とのご意見をいただきました。

昨年10月1日から始まったごみの有料化に伴い資源化品目も変更となり、アルミ缶、スチール缶、家庭金物が新たに資源回収になりました。これらの品目についてはこれまで市が収集業務を行っていたのですが、有料化の開始に合わせて各地域やマンションごとに契約した事業者が収集業務をするという形態に変わっています。そのため、地域やマンションによって収集日、収集頻度が異なっていることから、市が収集する「ごみの収集カレンダー」に記載できず、HP上でも別のページで確認しなくてはならないようになっていきます。

そこで、現在作成されている「ごみの収集カレンダー」と集団資源回収ごみの収集日をHP上においてリンクする形で見ることができるよう対応していただきたい旨、市の担当所管に要望したところです。

ごみの分別品目が増え困惑されている方が多くいらっしゃることもから、ごみの収集カレンダーをはじめ、わかりやすいアイテムを作成し、少しでも市民の負担軽減に繋がっていく努力が市には求められていると言えます。



| 日 SUN            | 月 MON            | 火 TUE            | 水 WED            | 木 THU            | 金 FRI            |
|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 28               | 29               | 1<br>資源物<br>回収日  | 2<br>資源物<br>回収日  | 3<br>資源物<br>回収日  | 4<br>資源物<br>回収日  |
| 6<br>資源物<br>回収日  | 7<br>資源物<br>回収日  | 8<br>資源物<br>回収日  | 9<br>資源物<br>回収日  | 10<br>資源物<br>回収日 | 12<br>資源物<br>回収日 |
| 13<br>資源物<br>回収日 | 14<br>資源物<br>回収日 | 15<br>資源物<br>回収日 | 16<br>資源物<br>回収日 | 17<br>資源物<br>回収日 | 18<br>資源物<br>回収日 |
| 20<br>資源物<br>回収日 | 21<br>資源物<br>回収日 | 22<br>資源物<br>回収日 | 23<br>資源物<br>回収日 | 24<br>資源物<br>回収日 | 25<br>資源物<br>回収日 |
| 27<br>資源物<br>回収日 | 28<br>資源物<br>回収日 | 29<br>資源物<br>回収日 | 30<br>資源物<br>回収日 | 31<br>資源物<br>回収日 | 1<br>資源物<br>回収日  |

## あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368

E-mail: takano\_zushi@yahoo.co.jp